

かなざわ

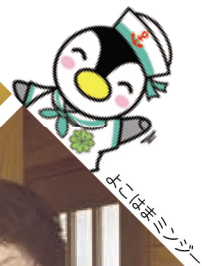
民児協だより

発行責任者 金沢区民生委員児童委員協議会 会長 寺木 好子

2025.2

第60号

金沢区役所 福祉保健課
横浜市金沢区泥亀 2-9-1
Tel. 788-7820



笑顔に会いたくて
笑顔に支えられて



民生委員・児童委員、主任児童委員については、
金沢区役所福祉保健課（TEL：788-7820）に
お問い合わせください。

金沢区民生委員・児童委員
ホームページ▶



研修企画部会の活動

全員研修会 令和6年9月6日 於：金沢公会堂
参加者：民生委員・児童委員 190 名、他団体 13 名

第1部は「こどもまんなか社会と民生委員・児童委員活動」について聖隷クリストファー大学の泉谷朋子先生が基調講演をしてくださいました。第2部は泉谷先生がファシリテーターとなって5人のパネリスト、民児協寺木会長・主任児童委員魚谷代表・金沢保護司会露木会長・フレンドリースペース金沢角田代表・発達に心配のある子どもを持つ保護者のためのおしゃべり会「カモミール」久保代表が「こどもまんなか社会の実現に向けた地域の繋がり、支えあい」をテーマに具体的な活動も含めた発表をしてくださいました。各会の活動を知り、理解することができ、連携に繋がる機会となりました。「こどもまんなか社会づくり」への一歩となる実感を得られた全体研修会になりました。



講師 泉谷 朋子氏
(聖隷クリストファー大学)



参加者のアンケートからは「民生委員として高齢者の方との関わりが多かったが、今回、児童の権利を学び直すことができました」「各団体の活動を知ることができました」「何処に相談しようかと思った時の窓口を知ることができました」などの感想が寄せられました。

全員研修“意見交換会” 令和6年11月25日 於：金沢区役所会議室



194名の民生委員・児童委員、主任児童委員が26グループに分かれ、意見交換会を開催しました。

先に、寺木会長の「民児協の中にはたくさんの仲間がいるので、何事も相談や話し合いをして、より良い改善策を模索することが出来る」という話がありました。

意見交換会では、誰もがのびのびと自分の意見を出していました。いろいろな地区と交流する機会があまり持てない委員にとって、同じ苦労や喜びを共有できる機会となりました。また、他地区の活動を知って今後のヒントを得た人もいたことと思います。仲間がいることが確認できた機会になったことでしょう。笑い声も聞こえ、和気あいあいとした時間が流れ、再会の約束も飛び交う中で閉会しました。交流により、地区を超え委員の絆ができた実感しました。

令和6年度「全員協議会」開催

5月17日に金沢公会堂にて197名の委員が出席し、各事案の報告・審議を行いました。今年度は活気ある民児協にしていきたいという思いのもと、新たに各関係機関との連携を強化するなどの目標を掲げる決議や、委員の皆さまからの活発な意見も出て、有意義な会となりました。終了後、ソプラノ歌手の松永知史さんの歌唱全10曲が披露され、澄みわたる歌声は会場の一人ひとりの心に響くものでした。



主任児童委員の活動

訪問研修 令和6年5月23日 於：三春学園

横浜市にある11か所の児童養護施設のなかで、富岡にある三春学園は唯一の公立施設です。児童養護施設とは、乳児を除く保護者のいない児童や虐待されている児童、その他環境上養護を要する児童へ心身ともに健康で安心できる生活を提供し、退所後の相談や自立のための援助を行うことを目的としています。

内部は子どもたちのプライバシーを守るため、個室化が進められていました。施設内のルールやおこづかいの使い方などは、職員が子どもたちと一緒に考えると聞いて、日常生活におけるすべてが学びとなっていると感じました。また、いつでも子どもたちの話を聞くようにしているなど、安心して生活できる場になるよう心掛けているというお話には、とても感銘を受けました。しかし、退園後の子どもたちへの支援など、まだ解決していかなければならない課題は数多くあるそうです。

現在、担当地区の民生委員・児童委員、主任児童委員が施設の第三者委員を務めていますが、さらに寄り添うためにはどうすればよいのかなど、たいへん考えさせられる研修となりました。



届け！中学生ボランティアのパワー 令和6年10月19日 於：海の公園

夏が戻ってきたかのような晴天の中、金沢区内の中学生50名が、「金沢まつりいきいきフェスタ」を盛り上げてくれました。

事前の準備では、他校の仲間たちとともにアイデアを出し合ったり、勉強会で先輩ボランティアの話に耳を傾けたり。フェスタ当日も、縁日や子どもの遊び場スタッフとして呼び込みや販売、募金活動、小さな子どもたちの相手と大活躍をしてくれました。

中学生たちの熱意と笑顔は総額58,298円を集め、日本赤十字社を通じて「令和6年能登半島地震災害義援金」として石川県へ送りました。



第50回金沢まつりいきいきフェスタ

10月19日に海の公園において民児協広報、啓発の一環として、今年もコーヒーショップを出店し、民生委員のことを知らない方たちへの良いアピールの場となりました。青空の下、大勢の方が来場し広い会場を巡ったのち、ひと休みする場としてコーヒータイムを楽しんでいただきました。

相談コーナーでは、地域の困り事などのお話を伺うことができました。



富岡第一

笑顔の「お元気だれでも食堂」

地区内にある「お元気こども食堂」は「お元気だれでも食堂」になりました。



コロナ禍では対面でおしゃべりをしながら食事をするのができなかったのがカレー弁当の配付を続けてきました。2024年5月からはご近所の小学生や赤ちゃん連れのパパママがテーブルを囲み、手作りカレーや淹れたてコーヒーとともにマジックショーやフラダンスなども楽しみました。「このカレーが一番好き」「楽しかったよ」という皆さんの笑顔に幸せを感じています。

富岡第二

認知症対応型福祉施設訪問研修

8月8日、グループホーム「このはな富岡東」にて訪問研修を行いました。「離れているからこそ、家族になれる」の施設理念のもと、ご本人とご家族と共にある介護を目指しています。認知症状のある高齢者がスタッフの介助を受けながら共同生活をおくっています。代表取締役大山朋弘氏より、法人理念「あなたらしさをいつまでも・・・」の実践について、日々の介護現場での実例をもとにお話を



詳しくお聞きしました。知識だけでは得られないお話が今後の委員活動にたいへん役立つ内容でした。

富岡第三

町内会対抗イベントで団結

秋晴れの10月、第26回連合町内会主催の町内会対抗スポーツフェスティバルが開催されました。民児協は全員参加で本部テント内の、賞品、得点、放送、受付係などを担当します。なかでも種目別、順位別、765名分の賞品確定作業には時間がかかり、子育て現役の主任児童委員の意見を参考にします。「ジュニア綱取り合戦」や「大綱引き」での盛り上がり、閉会式での数百名の笑顔の前にして、望まれているイベントの一つであることを実感させられます。



富岡西・能見台

認知症サポーター養成講座受講

8月5日、南区にある南地区センターで認知症サポーター養成講座を受講しました。現在、高齢者の4人に1人が認知症または予備軍と言われています。医療介護関係者だけでなく、多くの人にとっても身近な問題であり、こういう社会の背景の中、認知症の方への正しい対応方法を身につけられたらとの思いからでした。サポーターとして、地域の中でさりげなく気にかけるという大切さを学びました。少しでも「住み慣れた場所で自分らしく過ごしたい」という気持ちに寄り添うことができればと思っています。



広 告

能見台 横浜市消防局探訪

5月下旬、委員一同で横浜市消防局を訪れました。ここは横浜市のほぼ中心に位置する保土ケ谷区にあり、横浜市全体の火災・救助等を統括する役割を担っている場所です。地区会長の紹介により、普段体験できない探訪ができ消防司令センターで各区の救急車の出場状況を見せていただいたり、屋上のヘリポートから横浜の街を見渡したりしました。私たち



市民は昼夜も休まず守られていると実感し、有意義な一日でした。

金沢東部 笑顔のちから



映画「カンパニュラの夢」を通じて私たちは超高齢化社会とひきこもりの現実を深く考える機会を得まし

た。委員や地域の方々との意見交換では個々に抱える事例、様々な視点からの意見が交わされ、問題解決に繋がるアイデアなどを話し合いました。笑顔の声かけを通じて困難な状況を見極め、地域の方々の協力を得ながら活動することが、社会問題の解決の糸口です。笑顔を大切にしながらコミュニケーションの架け橋を築いていきたいと思います。

金沢シーサイドタウン 地域ケアプラザとの合同座談会

9月14日、3つの地域ケアプラザ（並木、富岡東、西柴）と顔の見える関係づくりを目的に、合同



座談会を実施しました。内容は4グループに分かれた座談会形式のワークショップです。委員活動で良かった事、困った事、学びたい事、この場で共有したい事などテーマごとに一人ひとりの意見を付箋に書き込み、貼り出していきました。「地域の方々から届いた感謝の声」や「今回のような関係機関との交流の場が必要」など様々な意見が集まり、情報の共有もでき有意義な交流会となりました。

金沢中部 地域支援に心をこめて



新任委員を迎え11名で活動しています。今年度は西柴小学校1年生への給食支援や、八景小学校児童への

見守りなど、子どもたちに寄り添い応援する活動を行っています。皆で学ぶために研修会も実施しています。6月に実施した「成年後見制度」の研修では判断力が衰えた認知症などの方々が安心して暮らすにはどうしたら良いか、制度の重要性を感じました。学んだ知識を大いに活かして地域の方々に寄り添う活動を続けて参ります。

広 告

金沢南部

福祉施設マップ活用での研修会



金沢ささえあいプラン地区別計画の取り組みで令和4年度に作成した「金沢南部地区福祉施設MAP」を活用して、3つの高齢者介護施設の訪問研修をしてきました。「ほほえみの里金沢町」では、静かな環境で短時間リハビリが提供されており、利用者の自立支援に取り組んでいます。「散歩道金沢」では、歩行に重点を置いたトレーニングが行われ、利用者が達成感を感じやすい工夫が印象的でした。「ふくふく寺前」は看護小規模多機能型施設で、柔軟な支援が特徴です。今回の研修を通じ、地域の高齢者に多様な選択肢を提供し、自立した日常生活を支援する重要性を改めて実感しました。

金 沢

若い力に支えられて

今回は、地元の中学生をご紹介します。数年前から金沢中学校の先生と生徒数名がバーベキュー大会にボランティアで参加し地域の方々と交流を深めました。8月の暑い中、熱中症に注意し各自治会町内会の皆さんと一緒に、お肉を焼いたり焼きそばを作ったりして、それぞれの町内へ運び、皆さんに大変喜ばれていました。ボランティアで色々な活躍を通し、すっかり地域に溶け込んでいました。先生、生徒の皆さんお世話になりました。



六浦東

障害者支援施設「航」訪問研修



7月17日、社会福祉法人すみなす会障害者支援施設「航」を見学しました。子どもも、大人も、高齢者も、障害のある人もみんなが地域の一員として明るく暮らしていけるような場所。この金沢区で、唯一入所施設のある「航」を大切に育てていこうとする熱意が、所長さんのお話から伝わってきました。海に面したこの金沢の地から、一人ひとりが思い思いの場所に進んでいけるようにと命名した「航」。私たち地域がこれからどう支援していったら良いのかを考える有意義な研修となりました。

六 浦

地域と共に

民生委員・児童委員20名、主任児童委員2名の22名で地域の高齢者や子どもたちとの交流を大切にして活動しています。定例会では、高齢者見守りや子育て支援、地域行事への参加など日々の活動を報告し合い、全員で情報を共有しています。瀬戸町内会館で20年あまり続いている子育てサロン「ハイハイくらぶ」は、乳幼児の成長に合わせた遊びや子育て情報の発信をしています。また、お母さんやお父さん同士が子育ての悩みや喜びを共有できる場となっています。



広 告

六浦西第一 笑顔でつくろう地域の輪



子育てサロンでの親子の笑顔や、ひとり暮らし高齢者の訪問などで、委員自身も笑顔で接することの大切さを今年度の活動目標として皆で話し合いました。

傾聴研修での学びを生かし、笑顔でのコミュニケーションがこちらこちらに広がっていくよう、地域の輪づくりを進めていきます。「民生委員・児童委員の日」活動強化週間には市庁舎の電子掲示板のPRを見学に行きました。咲き誇るバラ同様に委員の笑顔も輝き、親睦を深めることができました。



六浦西第三 体操クラブで元気もりもり！

月抜町内会では、毎週水曜日に有志による体操クラブが始まりました。ラジオ体操とNHK みんなの体操で体を動かした後、今回はお口の運動！「銀座カンカン娘」をぱぴぷぺぽで歌います。初めの頃は、なかなか舌が回らなかったとか。他にも「ボケない小唄」や「ボケます小唄」などから選曲して歌いました。途中で水分補給やちょっとした「もぐもぐタイム」などをはさんだら、今度は「青い山脈」や「手のひらを太陽に」を歌いながら体を動かします。最後に「今日の日はさようなら」の歌を覚えて来る宿題が出されました。次回はこの歌で手話に挑戦します。あっという間の時間でしたが、楽しく汗を流しました。



六浦西第二 地域で守る消費者被害

高齢者の消費者被害が多発しています。最近の傾向や未然防止策について、横浜市消費生活総合センターでお話を伺いました。最近の手口は巧妙かつ多様で、中でも点検商法による被害が増加傾向にあるそうです。一方で、身近に相談者がいないという問題があるため、地域での見守りがより重要になり、未然防止に繋がるといことです。また、消費生活情報をウェブや情報紙で発行されているので、情報入手の方法として皆さんにお伝えし、注意を呼び掛けていきたいと思っています。



釜利谷 地域に根付いた交流を

形は様々ですが、交流の場としてのサロンを各地区で開いています。ひとりで食事は寂しいとの声から食事会を始めたり、長年続いたシニアクラブの解散に伴いボッチャの会を始めた地区もあります。皆さん近況を伝え合うなどお喋りを楽しんでいます。また、西金沢地域ケアプラザ主催の「だれでもカレー・だれでもボッチャ」のお手伝いをしています。ボッチャでは、小学生と高齢者の白熱した試合が観られます。このように、誰もが笑顔になれる出会いや交流の場のお手伝いを続けていきたいと思っています。



ひとり親世帯への食支援

11月30日、いきいきセンターにて区社協・区役所・民児協が協力して、企業などからの寄付やメッセージカードを添えたプレゼントを準備しました。

当日は106名の参加申し込みがあり、来場者から感謝の言葉や切実な思いを聞き、今後も繋がりを大切に活動していきたいと思いました。



令和6年度街頭募金実績

294,521円

10月1日に、16地区の民生委員・児童委員の活動により集まった募金総額です。

皆さま、ありがとうございました。

*この広報誌は、共同募金配分金から一部助成を受けて作成されています。

保護司との意見交換会

6月12日に金沢保護司会の皆さまと民生委員・児童委員地区会長が一同に会し意見交換会を行いました。お互いの活動内容を共有することで、今後の具体的連携に役立てることを目的としたはじめの一步だったと思います。地域をよく知る民生委員と保護司が連携するケースが出た時には、ここから始まった繋がりを活かし、再犯防止のためにお互いが関係を深めることが必要だと思いました。



地区会長・副会長研修

10月31日に「横須賀老人ホーム」への訪問研修を行いました。ここには特別養護老人ホームのほか、神奈川県で唯一の盲養護老人ホームがあります。各居室前には、触って自室が判別できるように、マスコットや点字が設置してあるなどの工夫が見られました。また、視覚障害という共通の障害を通じて、生活の工夫や悩みも入所者間で共有できているとのことでした。視覚障害者を対象とした施設見学は初めてで、今後の活動につながる研修となりました。



令和6年度 表彰受賞者

★全国社会福祉協議会会長表彰

民生委員・児童委員功労表彰

鈴木 節子

★横浜市社会福祉功労者市長表彰

20年 米山 博美 磯邊 晴夫 栗谷富美子
奥富 妙子 関澤ゆみ子

15年 神田 妙子 森田 敏江 白根まり子
臼井由紀子

10年 土屋久美子 齋藤 直美 小島 豊子
水谷多美恵

★全国民生委員児童委員連合会会長表彰

永年勤続民生委員・児童委員表彰(10年)

工藤 章 中村美弥子 山口 克枝
松山 繁子 木村 圭子 島谷恵津子
細川 由紀 藤又 康 岩室 誠子
崎原美佐緒 福島 典子 深津早百合
小池 光世 後藤 和行 平島 寿史
加藤 悦子 黒川 幸江 佐々木 優
竹島 京子 本江 祥江 鈴木 晴美
上野 恵子 川島 覺 鈴木 博子
宮地 博志

★横浜市社会福祉協議会会長顕彰

米山 博美 磯邊 晴夫 栗谷富美子
奥富 妙子 関澤ゆみ子

編集委員

吉野 郁世 篠原 淳子 竹 里佳 岡田真理子
山口 克枝 神田 妙子 桑原 伸子 木内志保子
濱石 祐子 崎原美佐緒 長谷川裕子 緒方 芳樹
鈴木 市江 深津早百合 久保田千栄 井川こずえ
大川 玲子 水谷多美恵 前田 成子
寺木 好子(区会長) 鈴木 節子(区副会長)

編集後記

「民児協だより60号」のテーマ「笑顔」を通じて、人と人との関わり大切さを改めて認識しました。笑顔は人の心を明るくし気持ちを前向きにしてくれます。その思いを持って皆さまにお届け出来るよう各16地区の委員が多岐にわたる活動を報告しました。この号を通してより良い未来へ繋がられるように委員一同、共に努めて参ります。